

「千葉市立病院改革プラン（第6期）（案）」に対する意見と市の考え方

ご意見の一部は、趣旨を損なわない範囲で整理又は要約して掲載させていただきました。ご了承ください。

No	頁	項目名	意見内容	意見に対する市の考え方	修正の有無
1	-	-	幕張海浜病院にも血液内科の診療体制を整えてほしいです。現在、青葉病院の血液内科に通っているものの、自宅から距離があるため、今後高齢化した際に定期的な通院に不安があります。	いただいたご意見は今後の市立病院の運営の参考にさせていただきます。	無
2	3	第2章 病院事業の概要 1 市立病院の使命	市立病院の使命として、“市民が必要とする安全・安心で高度な医療を一人でも多くの市民に提供する”と記載されていますが、「一人でも多くの市民に提供する」について、大学病院を含む他の病院と何を差別化して提供するのが必要と思います。	青葉病院における血液疾患や精神疾患、海浜病院での小児・周産期医療やがん治療など、各病院それぞれの特徴や強みを活かし、市立病院としての役割を果たしていきます。	無
3	20～31	第4章 第6期プランにおける取組み	第6期病院改革プランとして、市立病院に求められる役割があり、次に青葉病院が果たすべき役割と海浜病院の果たすべき役割が同じ5つの柱で示されています。またP.22とP.26において、両病院の果たすべき役割が示されていますが、柱は同じなのに、役割は異なっています。両病院の設立時の市立病院としてのコンセプトと合致しているのでしょうか。	海浜病院は昭和59年、青葉病院は平成15年の開院後、市立病院のあり方を検討してきました。千葉市立病院再整備基本構想（令和2年8月）に定めた病院事業の基本方針を踏まえ、本プランにおける両病院の果たすべき役割を定めました。	無
4			政策的医療、周産期医療は簡単な注釈を付けていただくと、理解しやすいと思います。	P69からの用語解説に周産期医療を記載していますが、政策的医療は未記載のため、追記いたします。	有
5	33		第6期プランの5つの取組が実現できれば好ましいことですが、（1）～（4）と（5）は要する費用という観点から矛盾を感じます。今まで、取組（5）の目標が未達成（新型コロナの補助金を除き）の要因は、取組の一部あるいは全部に起因するのではないかと考えてしまいます。  【第6期プランにおける取組み 5つの柱】 （1）公立病院の使命の強化（2）選ばれる病院へ（3）断らない病院へ（4）質の高い医療の提供と（5）持続可能な医療の提供	費用対効果を意識しながら、各具体的な取組を進めます。	無